



平成21年度 学校便り 平成21年(2009年)6月16日 6月特集号

我ら東城陽

生徒の皆さんへのメッセージ(その9)

人間としての基礎・基本を築く中学校時代を大切に — “勝負の1学期”、まだ時間はある—

校長 西田 隆夫

今、第1学期のちょうど中間地点です(第1学期は8月31日までです)。3年生の皆さんには**“第1学期が勝負”**と言いつけてきました。いい調子でここまできている人が多いようですので喜んでいますが。ただし、成績になって現れるのはもう少し先になるはず。ここは我慢のしどころでもあります。第2学期に入ったらギアを少し入れ替えましょう。基礎・基本に徹底的に取り組んだら、そのことと平行して次は**「問題を深く考える」**ことです。

さて、夏の大会やコンクールも迫ってきました。各部とも1年生から3年生までこの大会は**“オール東城陽”**で臨んでください。練習には短時間でも集中し、声を掛け合って取り組んでください。

□ 高校へ行っても伸びていくために、中学校時代の学習を工夫改善しよう(2)

高校へ行っても学習でぐんぐん伸びていくための秘訣ひけつを書いています。前回、「勉強しんげんに対して**まじめであれ**」の真意として、「中学生のこの時期いつでないえきと身に付かないものなんの見方や感性かんせいなど**があり、その時期を逸するな**」、と書きました。今回は自分の頭でよく考える訓練を積んでおくこと、考える習慣付けをしておくこと及び自分で調べる方法を身に付けておくこと、について順次じゆんじ考えていきたいと思ひます。

まず、学校で学習する内容は易やさしい内容から難えきしい内容へと、「易やさから難なん」の順に構成されています。そして学校で扱われる学習内容は、多くは小学校から端たんを発はつして中学、高校、大学へとつながるようになっており、系統性けいとうせいのあるものとして構成され、教科書では、単元やユニットなどと呼ばれてまとまりのある学習内容として提示されています。また、小学校のときのよすじみちうに具体的な事物を見たり扱ったりする学習から、中学校では頭の中で物事を組み立て、筋道を順を追って考えたりすることが中心になる抽象思考を要する学習へと変わっていきます。今学習していることは高等学校へ行くとより広がりひろがりと深みのある発展性のあるものとして扱われることになり、現在難しいと感じている内容も小学校の基礎的・基本的な内容へとさかのぼることができます。

自分の頭で考えることが苦手という人がいると思いますが、先に述べた学習内容の扱われ方の大きな原則をよく知っておいてください。**自分の頭で考えることの出発点は、自分がわからなくなった時点で勇気をもって返るということです。**現在中一や中二にいる君の力なら小学校の内容をたやすく理解できると思いますが、少しでも引っかかりを感じるところがあれば、慎重に冷静にどこから分からなくなっているのかを確認してみる事が大切です。そして先生にたずねることは、恥はずかしいことではないし、友人に「ここどうしてもわからんわ」と話してみるのもいいでしょう。頭の中でもつれたり切れたりしている糸がうまくつながるものです。「今勉強している内容のそもそもの源は小学校のどのあたりで学習したことか」と問い直してください。小学校や前の学年に戻って学習するというのは、順を追って組み立てられている学習内容の系統性を確かめる作業ということができます。そして自分の頭でよく考える訓練を積んでいくことは、自分で調べる習慣を身に付けていくことにつながっていくのです。

□ 2. 3冊並行して読んでみては —読書の工夫あれこれ—

本を読むことの楽しさを書き続けていますが、担任の先生の報告どくはを聞いていますと、朝の読書を中心に年間相当数の本を読破している人がいて驚いています。私も読書に関してはいつも4~5冊を並行して読んでいます。小説3冊程度(ミステリーや歴史小説など)、評論集1~2冊というぐあいです。忙しいときもありますが、年間50冊程度は読めるものです。皆さんは無理をする必要はありませんが、楽しみを見出すとあれこれと自分なりの工夫が生まれてくるものです。



また次回に。

【中1振り返り集中学習】

平成21年度の京都府教育委員会の施策である、第1学年の生徒を対象に小学校時代の学習を振り返って補強する略称「ふりスタ」を実施しています。これは希望者を対象に、主に国語と算数の基礎・基本の徹底を図るものです。複数の教師が指導に入り個別指導を基本にしながら、「休まず、根気よく、わからないところは先生に聞く」を合い言葉に、参加した生徒は意欲的に学習を進めています。ねばり強くがんばりましょう。



【名作シリーズ ④】 **野菊の墓** 伊藤左千夫
まことに民子は野菊のような子であった。
民子はまったく田舎風であったが、決して粗野ではなかつた
かれんでやしくて、そうして品格もあつた。……………

